

参加費
無料

認知症を理解し、 地域で支える

認知症は他人ごとではなく、
地域の問題でもあります。

そういう意味で、認知症を正しく理解し、地域全体で支えるという視点が大切です。

- ・ 認知症と一般的なものの忘れの違い
- ・ 認知症の種類
- ・ 認知症の人の置かれている状況
- ・ 認知症の症状の理解
- ・ 認知症の人への対応の基本
- ・ 家族の抱える問題点と課題
- ・ 家族の心がまえ

などを理解し、認知症になっても安心して暮らせる街を目指しましょう。



日時

平成28年10月1日(土)
13:00~15:00

場所

聖徳大学10号館14階
千葉県松戸市松戸1169
JR常磐線・新京成線「松戸駅」下車、東口徒歩1分

定員

100名(事前申込不要)

後援

松戸市
松戸市教育委員会・市川市教育委員会
柏市教育委員会・取手市教育委員会



講師

東北福祉大学総合福祉学部
福祉心理学科教授
認知症介護研究・研修仙台センター長

加藤伸司

日本大学文理学部卒業。聖マリアンナ医科大学病院神経精神科(臨床心理士)、北海道医療大学助教授、高齢者痴呆介護研究・研修仙台センター研究研修部長を経て現在に至る。

主な論文・著書

- ・ 改訂長谷川式簡易知能評価スケールの作成 (老年精神医学雑誌)
- ・ 認知症の人を知る (ワールドプランニング社)
- ・ 認知症になるとなぜ「不可解な行動」をとるのか (河出書房新社)
- ・ 家族が高齢者虐待をしてしまうとき (ワールドプランニング社)
- ・ 発達と老化の理解「介護福祉士養成テキストブック」(ミネルヴァ書房)

お問い合わせ

聖徳大学心理教育相談所

〒271-8555 千葉県松戸市岩瀬 550

電話:047-308-3887(直通)

URL:<http://www.seitoku.ac.jp/kenkyujyo/sinri/>

